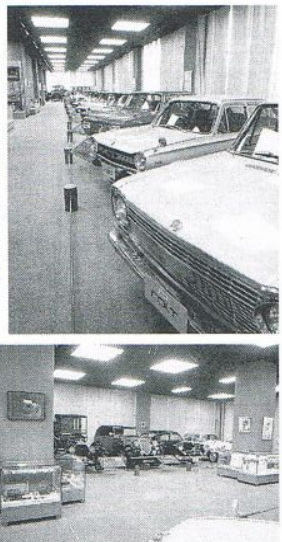

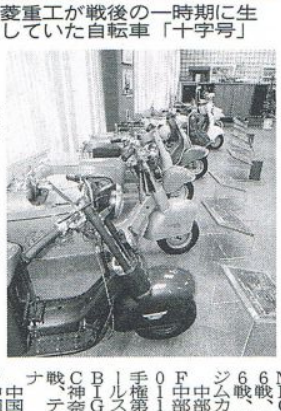

再訪ミュ

約1100平方㍍の館内には、我が国初の量産乗用車と言われる「三菱A型」（1917年）から1980年代までの三菱車が並ぶ。最新の三菱車を生み出す技術センターに同居する過去の名車たち。ここには三菱自のクルマづくりの歴史が詰まっている。

◇

三菱オートギャラリーは、開館当時の経営トップが「若手社員に昔の我が社の業績や技術、そして先輩の業績を伝えよう」ということからオー

売店や整備業者に依頼するなどさまざまな手を尽くした。

開館当時、車両の収集やレストアを手がけ長年にわたって館長を務め、今も名誉館長である沖信一氏（エムコア社長）によると、オートギャラリーは「収集からレストアまでほとんど手づくりに近いギャラリー」だという。それでも企画の立案から2年も経ずしてオープンにこぎ着けたという。

◇

「三菱自の技術や業績を伝えよう」という当初の思いから、三菱オートギャラリーには三菱車か三菱自に関わる車両しか展示していない。それだけに、ここに来れば三菱車

ーを必ず見学するという。またデザイナーたちが新しいデザインをする時に参考にするために見にくるということもあるという。かつての名車たちから新しいクルマへのインスピレーションを得ているのだろうか。このほか海外のサプライヤーが岡崎の地を訪れた時には、必ずオートギャラリーに立ち寄っていくという。「海外とくに欧州の人たちにとってクルマは文化」（沖氏）。過去の名車たちを

にも〝手づくり感〟があったりする。

■三菱オートギャラリーへのアクセス　車では東名高速道路岡崎インターチェンジから約20分。そのほか東海道新幹線三河安城駅（タクシーで約20分）、名古屋鉄道東岡崎駅・新安城駅（いずれもタクシーで約15分）というルートもある。公共交通機関は名古屋鉄道東岡崎駅から名鉄バスで「フタバ産業前」行きに乗車。「三菱岡崎工場前」で下車。

約1100平方㍍の館内には往年の三菱車がギッシリ

館内には戦前のクルマも並ぶ

三菱重工が戦後の一時期に生産していた自転車「十字号」

二輪車もあるのが三菱オートギャラリーの特徴だ

11▽26日＝2011年JMRC北海道ラリーチャンピオンシリーズ第4戦、2011年JMRC北海道ラリージュニアシリーズ第4戦、2011年JMRC北海道ラリー2WD1・5シリーズ第4戦、2011年JMRC北海道ラリーK－Carシリーズ第4戦、EZO SUMMER RALLY2011

ジムカーナ・サーキットトライアル

東北地方▽26日＝2011年JAF東北ジムカーナ選手権第2戦、JMRC全国オールスター選抜2011年JMRC南東北ジムカーナシリーズ第2戦、DIREZZA CUP

関東地方▽26日＝2011年JAF関東ジムカーナ選手権第6戦、JMRC関東オールスターシリーズ第6戦、JMRC関東オールスター選抜第6戦、HORMSエキサイティングジムカーナ

中部地方▽26日＝2011年JAF中部ジムカーナ選手権第5戦、2011年JMRC中部ジムカーナ選手権第5戦、2011年JMRCオールスター選抜第5戦、NRC鈴鹿BIGジムカーナ、2011JMRC神奈川ジムカーナシリーズ第3戦、テクニカルチャレンジジムカーナ

中国地方▽26日＝2011年JAF中国ジムカーナ選手権第3戦、2011年JMRC中国ジムカーナチャンピオンシリーズ第4戦、2011年JMRC全国オールスター選抜第4戦、11スピリットジムカーナ

九州地方▽26日＝2011年JAF九州ジムカーナ選手権第5戦、JMRCオールスター選抜第5戦、CRMCジムカーナ2011

ダートトライアル・オートクロス

北海道地方▽26日＝2011年JAF北海道ダートトライアル選手権第6戦、2011年JMRC北海道ダートトライアルチャンピオンシリーズ第6戦、2011年JMRC北海道ダートトライアルジュニアシリーズ第6戦、2011年JMRCオールスター選抜第6戦、チボーダートアタック

関東地方▽26日＝2011年JAF関東ダートトライアル選手権第6戦、JMRC関東ダートトライアルシリーズ〈JMRC全国オールスター選抜戦〉プラムカップin丸和

近畿地方▽26日＝2011年JAF近畿ダートトライアル選手権第5戦、JMRC近畿ダートトライアルチャンピオンシリーズ第5戦、JMRC全国オールスター・ダートトライアル選抜第5戦、JMRC近畿ダートトライアルジュニアシリーズ第5戦、2011サンダース夏

カート▽26日＝NTC CUPシリーズ第3戦

カート（クローズド）▽26日＝2011TOYOTA SLカートミーティングフェスティカサーキットシリーズ第3戦、TOYOTA SLカートミーティング2011レインボーシリーズ第4戦、2011SL北神戸シリーズ第4戦

◇MFJ全日本選手権・主要競技会カレンダー◇

▽26日＝MOTO1ALL STARS第4戦

カーディーラーの店長に読んでもらいたいドラッカー

第6回「マネジメントの語源」

大内 一敏
スキル&モチベーション代表

左記の文章は、このコラム連載の初回紹介文をご覧いただいた読者から私に送られたメールの内容から一部を引用したものである。ご本人のご承諾を頂いたので以下にご紹介する。

『大内様、お久しぶりです。連載開始おめでとうございます。早速日刊自のWebページで拝読いたしました。これまで管理監督者が販売拠点の実績を左右するキーマンであることはよく耳にしましたが、そのマネジメントの手法や中身について具体的に語られたものは少ない、と感じていました。今話題のドラッカーを切り口に、その未開の部分がわかりやすく語られており、今後の連載が楽しみに思いました。私自身、最近「manage」という英語は「何とかする」という意味があることを知り、「営業マネジャー」は販売を管理する人、でなく「販売にまつわることをどうにか処理して、首尾よく運ぶ係（責任者）」であると気付きました。マネジャーに昇進しても管理職という意識よりは、自分で何とかする係であると認識して取り組まないといけないと、考えを新たにした次第です。大内さんの連載でマネジメントがどのように語られるか楽しみです。この連載を弾みに、ますますご活躍されますことを祈念いたします。』

以上読者から送られたメールを原文のままご紹介させていただきました。マネジメントという言葉を創り、マネジメントを体系化、マネジメントを世に広めたマネジメントの発明者、生みの親はピータードラッカーということになっているが、英和辞書で「manage」という言葉の意味を調べてみると、大変興味深いことに「なんとかする」「どうにかする」と記載されている。そして「－ment」は接尾語で「動作」「手段」の意がある。したがって「management」という言葉は、もともとあった「manage」と「－ment」の合成語であり、日々の活動において発生するさまざまなマネジメント上の問題や課題に対応したり、ハイレベルで困難な「販売目標」や「利益目標」であっても「なんとかして」「どうにかして」やり遂げるための「行動」や「手段」ということになる。

正に読者からいただいたメールに記されているように、「販売にまつわることをどうにか処理して、首尾よく運ぶ係（責任者）」ということになる。更にこれらのことはステークホルダー（利害関係者）である経営者、社員、顧客、株主等の関係において顕著であり、マネジャー（管理監督者）は、これらのステークホルダー（利害関係者）のニーズ（欲求）に同時的に応えることが求められるのである。

現場レベルでカーディーラーにおける日々のマネジメント活動を見ても、互いに二律背反するさまざまな事柄を「なんとかする」「どうにかする」のがマネジャー（管理監督者）の仕事ではないだろうか。

たとえば、「クルマを売りたいがために値引きをすれば利益が減るし、利益を得るがために値引きを抑制すると競合他社との競争に敗れる」「販売目標を達成するための稼働日数が足りないので月末に営業スタッフに休日出勤を命ずれば、残業手当が多すぎると経営者に叱責される」「顧客からクルマの調子が悪いとクレームがあったので無償対応してCSを向上すれば、修理代が会社の負担になる」等々、挙げればきりがない。

このようにステークホルダー（利害関係者）である経営者、社員、顧客、株主等の関係において互いに離反する事柄、二律背反の関係にある事柄を同時的に「なんとかする」「どうにかする」することで、ステークホルダー（利害関係者）相互間にWIN・WINの関係をもたらし、維持することがマネジャー（管理監督者）の仕事であり、マネジメントなのである。だからマネジメントは困難性があるとともに遣り甲斐があるのではなかろうか。

新刊紹介

PMC・Sにみる日本のモータースポーツ

茶木寿夫・関根基司共著

PMC・Sにみる
日本のモータースポーツ
PMCS
茶木寿夫
関根基司 著

「PMC・S」と言われても、今ではピンとこない人が多いだろう。フルネームは「プリンスモータリストクラブ・スポーツ」で、東京オリンピックが開かれた1964年に誕生したモータースポーツクラブの老舗である。日産プリンス車の愛好者を中心に、約半世紀にわたってモータースポーツ活動を展開してきた。

本書はモータースポーツをこよなく愛する2人の著者によって綴られた日本のモータースポーツ史である。タイトルにあるように、PMC・Sの活動を核としているが、レース、ラリー、ジムカーナ、ダートトライアルなど、日本のモータースポーツの全てが鳥瞰図的にわかるようになっている。

モータースポーツだけではない。自動車そのものの歴史にも詳しく触れている。蒸気自動車から電気自動車、そしてガソリン車が台頭し今日につながる100年余りの歩みがわかる20㌻に及ぶオリジナル年表を掲載している。

著者の茶木寿夫氏は日刊自動車新聞社から日本モータリストクラブに出向し、数多くのモータースポーツの開催を手がけてきた。自身も選手として活躍し、79年のWRC英国RACラリークラスでは6位に入賞。現在オートライフクラブ代表を務める。関根基司氏はスカイラインでラリーの全日本タイトルを獲得。レースでは初代Aクラスチャンピオン。現在PMC・S代表。両氏とも1949年生まれ。

ピーエムシーエス（☎03－3863－3378）、B5判276㌻、定価2100円（税込）。

◇

読者プレゼント　応募者全員の中から抽選で10人の方（お一人様1冊）に本書をプレゼントします。応募方法は官製はがきに左記の項目を記し、8月25日必着で投函してください。氏名、郵便番号、住所、年齢、携帯電話番号（ない方は固定電話番号）。宛先は〒101－0024東京都千代田区神田和泉町1－2－5ピーエムシー有限会社

スクリーンを飾った名車たち

◁149▷

ケイディを友人との仲取り戻せる場所へ運ぶ

る大事なパーティーの日、別の場所では同州の高校数学大会が開かれていた。その会場に同校数学クラブの選手がミニバン「フォードウィンドスター」で到着。選手の中にはクイーン候補の新入部員ケイディ

イディは16歳。帰国して体験する人生初の学校生活に戸惑うが、万国共通の数学は得意だった。ある日、学校の女王蜂レジーナ（レイチェル・マクアダムス）から誘われてセレブ・グループの一員となる。だがレジ

クルマの買う気に影響する